

防災行政無線を設置します。

工事請負金額は

2億6,144万1,187円

設置目的

現在、嘉麻市の防災情報は、合併前の機器を活用し運用しています。

しかし、大規模災害を想定した時に、現状では市民への情報伝達に時間を要し、手段も異なっていることから、同時通信システムの導入が必要とされてきました。

また、現在の機器は老朽化し、交換部品の製造もなされていないことから、国、県、市からの緊急通報や平常時には行政情報を瞬時に全市民へ伝達するため、市内全域にデジタル方式による防災行政無線を設置します。

各地区の状況

山田地区

ケーブルテレビ事業を活用し、テレビ画面にテロップで防災情報を流しています。

碓井地区

碓井庁舎のサイレンにより、緊急事態の発生を伝え、音声告知については職員等が広報車で呼びかけています。

稲築地区

稲築庁舎から有線放送により音声による情報伝達を行っています。

嘉穂地区

嘉穂庁舎から音声告知を行っています。音声が届かない地域は、戸別受信機を設置して同時通信を行っています。

無線の種類

同報系防災行政無線

屋外拡声器や戸別受信機を介して市等から市民に対して防災情報や行政情報を伝えるシステムです。

移動系防災行政無線

車載型や携帯型の移動局と市役所との間で通信を行うシステムです。

設置機器

同報系

親局設備	1局
中継局設備	1局
屋外拡声子局	91局
遠隔制御装置	5台
戸別受信機	1215台

などです。

移動系

基地局	1局
中継局設備	1局
遠隔制御機器	4台
携帯型無線機	66台

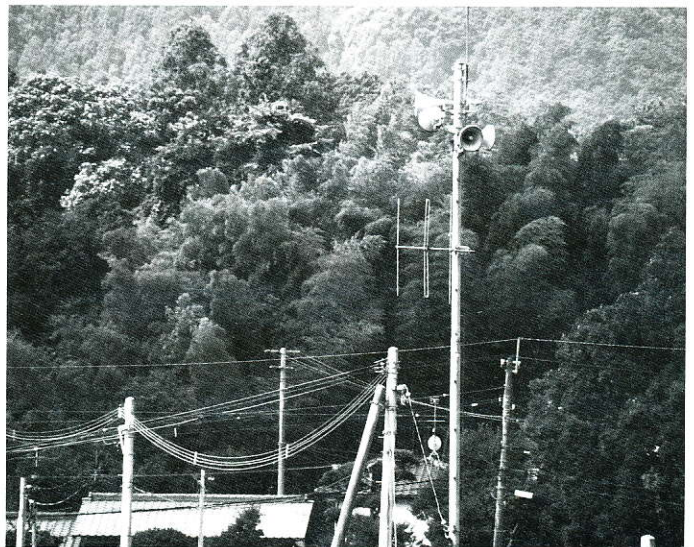
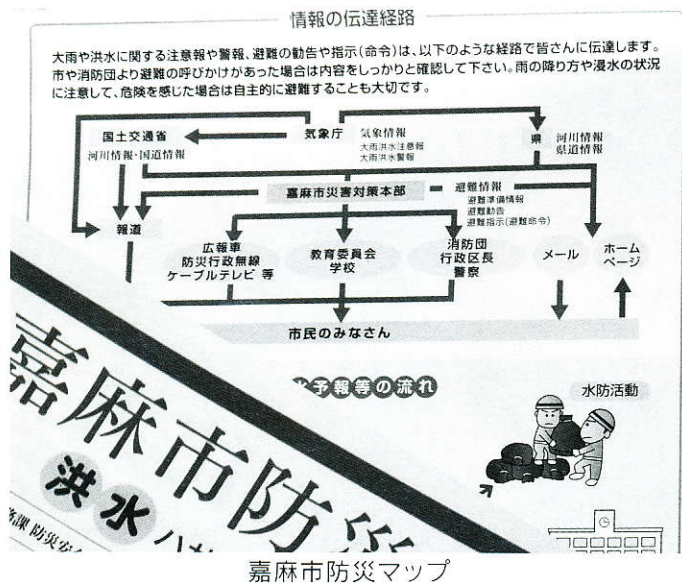
などです。

議会の審議

難聴地域の対策はどうするのかとの質問に対し、戸別受信機を設置することで対応したいとの回答がありました。

基礎工事などは、地元業者に下請けさせるようにできないのかとの質問に対し、下請けできるように指導していきたいとの回答がありました。

7億余りの予算に対し、2億6千万円の契約となっているが、積算はどうなっているのかとの質問に対し、請負業者が機器を製造しており、安価で機器を納品できることが要因の一つと考えているとの回答がありました。



防災行政無線(嘉穂地区)